

⑤ 西森マリー 著

『聖書をわかれば英語はもっとわかる』  
(講談社)

英語の turn the other cheek という表現をご存じですか? 「侮辱を甘んじて受ける、仕返ししない」という意味ですが、ほおを向けることがなぜこんな意味に? その理由は聖書にあります。マタイ福音書で、(右のほおを打たれたら) もう一方のほおも向けなさい、と悪人に手向かわないように諭す場面に由来しています。倍返しの日本の銀行員とは大違いのこの表現、無抵抗を唱えるものとして広く知られていますが、聖書の科学的な解明を試みる研究者による別の解釈も。

本書では、聖書を知っていなければ分からない、現代英語の裏側に込められた真意を感じ取ることができます。(N.T.)

830.4 ||Nis

⑦ 中島さおり 著

『パリの女は産んでいる：  
「恋愛大国フランス」に子供が増えた理由』  
(ポプラ社)

本書はフランスに住む日本人女性が書くエッセイで、日本とフランスとの違いがとても興味深く紹介されています。男女問わずおもしろく読み進めることの出来る一冊ではないでしょうか。内容はフランスにおける恋愛、出産、子育て、さらには仕事や日常生活にまでわたり、まさに異文化の世界がギュッと詰め込まれています。

国が違うというだけで、横のものが縦になる現状やその理由など、驚かされる発見にたくさん出会えます。(S.M.)

367.235 ||Nak



⑥ 茂山千作・茂山千之丞 著；宮辻政夫 編

『狂言兄弟：千作・千之丞の八十七年』  
(毎日新聞社)

この本は、狂言師の茂山千作、千之丞兄弟が辿った苦難の道のりを、毎日新聞大阪本社発行の土曜夕刊に隔週連載された「千作・千之丞 泣き笑い兄弟80年」を基にして、改稿されたものです。

終戦直後は生活するだけでいっぱい、狂言の舞台は少なく活動が困難になっていきますが、学校回り狂言で地道に活動、次第に舞台は増え、新たな試みとして、歌舞伎の舞台に出演するなど、古典芸能の継承だけでなく、様々なジャンルと交流を持ち、晩年は自由な演劇活動をされています。性格の違う兄弟の力で開いた狂言の世界は実に面白いです。(M.T.)

773.911 ||Shi

⑧ 中山理 著

『中学数学再入門：  
できる、やさしい、役に立つ』  
(中央公論新社)

本書は大人のための中学数学の解説書である。負の数、方程式、関数、図形、確率、証明と中学校で習う内容が網羅されている。よく間違えるポイントが「つまずきの石」としてまとめられており、これを拾って読むだけでも十分理解が深まる。また、気楽に挑戦できる例題とその解答が各章に付されている。

第一章には『いちばん大事なことは、数学も算数も「なぜそのようになるのか」原因を考え、結果を予想して、過程を正しくすること』とあるが、これはその他の学問でも肝に銘じたい言葉だろう。(S.O.)

410 ||Nak